

voice 声を上げれば
政治は変わる!



現場・調査ふまえた提案力で
自公政治と対決し政治を変える

2019年度～2022年度

この4年間で

- カジノ誘致撤回
- 大劇場建設計画の中止
- 短期国民健康保険証の発行中止
- 基金取り崩しによる介護保険料値上げ抑制
- 小児医療費助成対象を中3まで拡大
- 育鵬社版の中学校教科書の継続使用ストップ
- 北綱島特別支援学校の本校復帰
- 高速道路北西線トンネル工事費21億円削減
- 上瀬谷基地跡地での新交通システム導入を凍結
- 自然環境保全へ(仮称)上瀬谷公園を20%拡張
- 特別養護老人ホーム入所待ち期間を短縮



子どもを産み
育てたいと思えるまちへ



- 子ども医療費18歳まで無料、出産費用ゼロ
- みんなが食べられる中学校給食(選択制から全員制)
- 認可保育園の増設・学童保育への支援増
- 少人数学級の推進、教員の多忙化解消



誰もが安心して
住み続けられるまちへ



- 敬老パスを維持し、健康寿命を延ばす。
75歳以上無料化を目指す。
- 特別養護老人ホームの増設
- 国保料・介護保険料の値上げストップ
- 科学的なコロナ感染症対策の推進
- 生活道路・歩道の整備
- 地域公共交通網の充実
- 住まいは人権、市営住宅を増やす。
- 横浜経済の要の中小企業の支援、公契約条例の制定

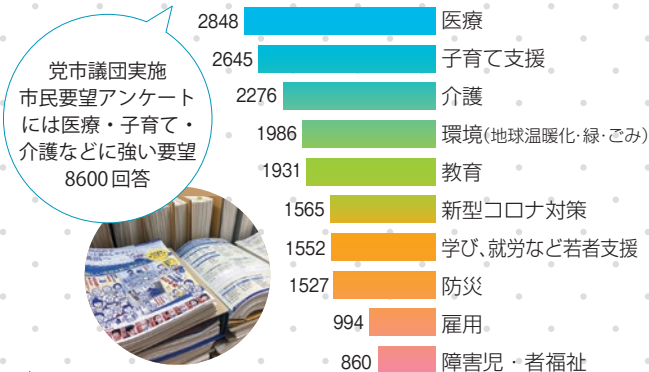


災害に強く
命を守るまちづくりへ



- 危険な崖地の対策
- 避難所の拡充
- 通学路の安全確保(危険なブロック塀対策等)

市長に特に力をいれてほしいこと(三つ選択上位10)



一方市議会では…市長公約に
自民・公明が激しい抵抗

2021年夏に誕生した山中竹春市長の重点公約「全員制の中学校給食」「3つのゼロ(子どもの医療費ゼロ、出産費用ゼロ、75歳以上の敬老パス自己負担ゼロ)」の実現に自民・公明が激しく抵抗しています。

両党とも2022年度予算案には賛成しましたが、「中学校給食は現制度(選択制)の発展が最適」、「3つのゼロは財源がない」、「公約は無責任だ」などそれまでの主張は撤回していません。

カジノとめた市民の力で今度は議会を変えよう

しかし、市長公約は多くの市民がその実現を願っています。その市民の力を結集する取り組みを強めて市長を後押しする議員を増やすことが市政を前に進めるにはどうしても必要です。



国際平和
核廃絶をリード



- 海外15都市と姉妹・友好都市、パートナー都市の連携協定を結ぶ国際都市として、核廃絶・世界平和に寄与するために、9条を生かした都市間交流・外交をすすめます。



日本最大の基礎自治体として

ジェンダー
平等社会

気候危機
の打開

トップランナーに